投資計画（確認依頼書）の記載例

中小企業等経営強化法の先端設備等に係る投資計画に関する確認依頼書

令和７年１０月１日

（認定経営革新等支援機関）　殿

住　　所　〒０００－００００
　　東京都千代田区霞ヶ関１－３－１
名 称　及 び　株式会社中小企業
代表者の氏名　代表取締役　中小 太郎

下記の先端設備等に係る投資計画について、中小企業等経営強化法施行規則第７条第２項に定める投資計画の要件を満たしていることの確認を依頼します。

記

１　事業者の名称等

事業者名	事業者名株式会社中小企業（法人番号〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇）
事業内容	輸送用機械器具製造業

２　先端設備等の導入の目的

当社は、独立系の自動車部品製造業者であり、独自の鋳造技術による高性能エンジン部品が主な製品であり、主に国内の大手自動車メーカーに販売している。

昨今の円安傾向により今後自動車の輸出が増加することが見込まれることに加え、提携先を活用した独自ルートにより海外販売先の開拓も進んでいることから、今後は輸出販売を中心に受注増が予想される一方で、海外部品メーカーとの競合が激化する見込み。

既存の設備は老朽化が進んだ結果、歩留まり率が悪化しており、また、生産量に限界があることから、今般の受注拡大や競合メーカーとの競争力強化を図るため、最新の生産設備への入替えを計画している。最新のプレス機械、油圧ハンマー、フォージングロールの導入により生産ラインの刷新を行うことで、歩留り率の改善による製造原価の低減や、生産量の拡大による売上の向上を図り、当社の強みである高性能エンジン部品の国際競争力を強化することを目的とする。

投資計画の概要について要約的に記載する。

３　先端設備等の導入を行う場所の住所

Ａ工場：東京都練馬区〇－〇－〇

４　先端設備等が事業者の事業の改善等に資することの説明

既存設備では、高性能エンジン部品年間生産量が9，４９５トンである。また歩留り率は９５％に留まっている。当社はこれらの抜本的な改善を目指すため、このたび、最新のプレス機械、油圧ハンマーの導入により時間あたり生産量を年間２０％向上させることで売上拡大を図るとともに、フォージングロール導入により歩留り率を４％改善し、９９％とすることを目指す。

先端設備等が、どのように事業の改善等に寄与するかという内容を記載する。

（例えば、生産量・販売量の増加や製造原価・販管費の削減の内容等を説明。）

５　設備投資の内容（必要に応じて別紙）

	取得年月	設備等の名称/型式	所在地	設備等の種類	単価（千円）	数量	金額（千円）	用途
1	令和７年12月	プレス機器/ＰＲ１２３-４５	東京都練馬区	機械装置	４０,000	1	４０,000	高性能エンジン製造
2	令和７年12月	空調設備/HM４３２１	東京都練馬区	建物附属設備	１５,000	1	１５,000	同上
3	令和８年3月	測定機器/ＦＲ２１－２	東京都練馬区	器具備品	４５,000	1	４５,000	同上
4	令和８年5月	測定機器/ＦＲ２１－２	東京都練馬区	器具備品	４５,000	1	４５,000	同上
計							145,000	

６　基準への適合状況

別紙

【参考】投資計画の記載例と対応する先端設備等導入計画の参考例

様式第２２（第２５条関係）

先端設備等導入計画に係る認定申請書

令和７年１０月２０日

（市区町村長）　殿

住　　所　〒０００－００００
　　東京都千代田区霞ヶ関１－３－１
名 称 及 び　株式会社中小企業
代表者の氏名　代表取締役　中小　太郎

中小企業等経営強化法第５２条第１項の規定に基づき、別紙の計画について認定を受けたいので申請します。

別　紙

先端設備等導入計画

１　名称等

1	事業者の氏名又は名称	株式会社中小企業
2	代表者名（事業者が法人の場合）	代表取締役　中小　太郎
3	法人番号	○○○○○○○○○○○○○
4	資本金又は出資の額	○，○○○万円
5	常時使用する従業員の数	○○人
6	主たる業種	輸送用機械器具製造業

２　計画期間

令和７年１１月　～　令和１０年１０月

３　現状認識

①自社の事業概要

当社は、独立系の自動車部品製造業者であり、独自の鋳造技術による高性能エンジン部品が主な製品であり、主に国内の大手自動車メーカーに販売している。

②自社の経営状況

売上は令和６年３月９０，０００千円、令和７年３月期１００，０００千円と増加しており、営業利益についても令和６年３月期４，５００千円、令和７年３月期６，０００千円と増加している。

昨今の円安傾向により今後自動車の輸出が増加することが見込まれることに加え、提携先を活用した独自ルートにより海外販売先の開拓も進んでいることから、今後は輸出販売を中心に受注増が予想される一方で、海外部品メーカーとの競合が激化する見込み。

４　先端設備等導入の内容

（１）事業の内容及び実施時期

①具体的な取組内容

既存の設備は老朽化が進んだ結果、歩留まり率が悪化しており、また、生産量に限界があることから、今般の受注拡大や競合メーカーとの競争力強化を図るため、最新の生産設備への入替えを計画している。

最新のプレス機械、油圧ハンマー、フォージングロールの導入により生産ラインの刷新を行うことで、歩留り率の改善による製造原価の低減や、生産量の拡大によ

る売上の向上を図り、当社の強みである高性能エンジン部品の国際競争力を強化することを目的とする。
②将来の展望
・新たな設備の導入により、生産能力が向上することに伴い、受注拡大が見込めることから売上の増加を図る。
・また、高精度な加工が可能になることから、歩留まり率が向上し、製造原価を低減させることができる。
・担当者の熟練度によるばらつきも抑えることができるため、限られた人員でより多く生産できる体制を構築することでき、生産性の向上を実現することができる。

（２）先端設備等の導入による労働生産性向上の目標

現状 （A）	計画終了時の目標 （B）	伸び率 （B－A）／A
５，０００千円	５，４５０千円	９．０％

（３）先端設備等の種類及び導入時期

	設備等名／型式	導入時期	所在地
1	プレス機器／PR123-45	令和７年１２月	東京都練馬区○－○－○
2	空調設備／HM4321	令和７年１２月	東京都練馬区○－○－○
3	測定機器／FR21-2	令和８年３月	東京都練馬区○－○－○
4	測定機器／FR21-2	令和８年５月	東京都練馬区○－○－○
5		年　　月	

	設備等の種類	単価 （千円）	数量	金額 （千円）	備考
1	機械装置	40,000	1	40,000	特例率 1/4
2	建物附属設備	15,000	1	15,000	特例率 1/4
3	器具備品	45,000	1	45,000	特例率 1/4
4	器具備品	45,000	1	45,000	特例率 1/4
5					

	設備等の種類	数量	金額（千円）
設備等の種類別 小計	機械装置	1	40,000
	建物附属設備	1	15,000
	器具備品	2	90,000

合計		3	145,000

5　先端設備等導入に必要な資金の額及びその調達方法

使途・用途	資金調達方法	金額（千円）
先端設備導入購入資金	融資	80,000
先端設備導入購入資金	自己資金	65,000

6　雇用に関する事項

令和７事業年度（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）において、雇用者給与等支給額を令和６事業年度と比較して３．０％以上増加させる方針を策定し、同方針について、令和７年１０月１０日に従業員代表の賃上　太郎に対して表明した。